

名古屋能楽堂

十月定例公演

東海ゆかりの能・狂言

旅の収穫をねらう人たち

中山道の赤坂宿で、奥州に下る金商人を待ち受けるのは、熊坂長範ひきいる盗賊団。

だが大誤算は、商人の用心棒として源義経が同行していたこと。

能「熊坂」は、長刀による戦闘の再現が見どころです。一方、狂言「富士松」は、

太郎冠者が富士山から持ち帰った松をめぐる、主人との連歌の応酬。

両作品とも、それぞれの攻防をお楽しみください。



「富士松」(和泉流)
シテ 野村又三郎
― 富士信仰 ―



「熊坂」(観世流)
シテ 伊藤 裕貴
― 中山道赤坂宿 ―
(岐阜県大垣市)

令和2年

10月24日(土)

14:00開演(13:00開場)

全指定席

正面席A4,200円

正面席B、中・脇正面席 ...3,200円

学生券(正面席A以外)2,000円

※学生は25歳以下を対象とします。

※感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。

※入場時の検温にご協力をお願いします。(37.5度以上の場合の入場をお断りします)

※本公演のイヤホンガイドはございません。

※能の演目が「夜討曾我」から「熊坂」に変更となりました。これに伴い出演者も変更となっております。

8月14日(金)より
前売券発売

能「熊坂」(観世流)
(撮影:杉浦賢次)



狂言 富士松(和泉流)

シテ 太郎冠者
アド 主
野村又三郎
野口 隆行

後見 伴野 俊彦

休憩二十分

能 熊坂(観世流)

前シテ 所の僧
後シテ 熊坂長範の霊
伊藤 裕貴

ワキ 旅僧
飯富 雅介
アイ 里人
松田 高義

笛 鹿取 希世
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村眞之介
太鼓 鬼頭 義命

後見 前野 郁子
近藤 幸江
吉沢 旭
清沢 一政
久田 勘鷗
祖父江修一
地謡 本田 勲

(午後四時頃終了予定)
止むを得ず曲目、出演者等が変更になる場合がございます。
能の演目が『夜討置我から熊坂』に変更となりました。

狂言解説「富士松」(ふじまつ)

召使い(太郎冠者)が無断で旅に出掛けていたと知った主人は、懲らしめのため自宅を訪ねますが、信心深く富士禪定(富士詣)をしていたと知って赦し、富士山の様子を尋ねながら召使いが手に入れてきた富士松(唐松の別称)を所望します。太郎冠者は主人に酒を勧め、誤魔化そうとしますが、主人は松を我が物に取り上げようとするため、松を賭け物とした連歌の勝負となり…。
信仰の象徴としても尊え立つ富士山には《霊峰富士》の名の如く崇められる聖域でもあつて、高山に登って修行し所願成就を祈念する「禪定(ぜんじょう)」と呼ばれる参拝方があります。富士山自体が富士宮市街の総本宮(富土山頂)に至る浅間神社の御神体として祀られており、その参詣の広まりと共に今なお多くの参拝者が頂きへとつつく標へに挑みます。
また本曲のように、主人の赦しを得ず無断で参詣(外出)する(抜け参り)を取り上げた作品に、「竹生島参」(都久夫須麻神社)や「文蔵」(京都見物)などがあります。(井上松次郎)

能解説「熊坂」(くまざか)

熊坂の長範を打ち取った牛若とは
平治の乱で敗れた源義朝の九男牛若は山科で育てられた後、七歳になると鞍馬寺に入り、学問一筋の生活を送ります。ある時、鎌田三郎正近が牛若に会い、源氏の代々を詳しく話します。牛若は学問を捨て、鞍馬の奥(僧正方谷)の貴船明神で太刀の稽古をします。この頃より名を変え、遮那王と呼ばれます。十六歳になった年、京都三条の砂金買いの商人、吉次信高なる者が遮那王を見、奥州下りを持ちかけます。承安四年(二七四年)二月二日明け方、遮那王は鞍馬寺を出、粟田口で吉次と落ち合い、追手が来る前にと馬を全速力で走らせ、近江国(鏡の宿場)に泊まります。その夜、出羽国の名高い山賊、由利太郎と越後国の藤沢入道が共謀して、吉次の財宝を奪うべく百人程で押し入りますが、反対に遮那王が由利太郎・藤沢入道を討ち取ります。
能・熊坂あらずじ

(前場)東国修行を志す僧が、日暮れて美濃赤坂の青野が原に着きますと、一人の僧に呼び止められ、今日はさる者の命日だから用ひてほしいと言われます。さる者の名を問う僧を、自分の庵室に案内しますが、そこには仏像もなく、あるのは武器ばかりです。この辺りは山賊・夜盗が多く被害に会う者が多いので、愚僧が助けるためのものと釈明しつつ、夜明けと共に眠りに入ると、僧も庵室も消えて草むらになっていました。

(後場)旅の僧が用ひをしていますと、熊坂長範が現れます。そして、鷹針太郎兄弟、壬午の小猿、麻生の松若、三国の九郎、加賀の熊坂長範など七十人で、赤坂の宿にて黄金商人吉次信高の荷を襲った経緯を話します。一緒にいた年のころ十六七の小男を牛若とも知らないで戦い、散々に討たれます。「盗みも命あつてのこと」と引っこしますが、思い直して戦い、この松の根方で死んだと語り、用ひを頼み消え失せました。旧中山道美濃赤坂の物語です。

10月3日(土)に予定していましたが十月定例公演事前学習講座は中止となりました。何卒ご了承ください。

チケット料金(税込み) *前売券発売日 令和2年8月14日(金)

全指定席	正面席A	正面席B・中正面席・脇正面席	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	4,200円	3,200円	2,000円

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のこ入場はお断りいたします。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引き(学生席は200円引きです)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外のご遠慮下さい。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088

*前売券発売日は、お電話がつながりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00 / チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引致します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ / 名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎ご来館の際はマスクをご着用ください。
- ◎入場時の検温にご協力をお願いします。(37.5度以上の場合には入場をお断りします)
- ◎本公演のイヤホンガイドはございません。
- ◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。座席数は定員の半分以下となります。その他ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/scd24_top.html